

問に答ふ

注 水彩画に關係するものは限る。印は答。一般に對し利益なきものは載せず。

■ 1 銀色の固形繪具を擦り下すと黒き汁を生じ畫面に塗るも不結果なり救濟法なきや
2 繪具の乾燥を防ぐためクリスリンを幾度塗つても有害ならざるや3 カドミウムエロアの代用品又は合色して同様の色を得る繪具ありや(本郷黙蛙生)◎ 1 棒状の金色銀色は真品にあらず別に救濟の道なし、金銀粉をアラビヤゴム若くは板ニカラに溶きて用ふるをよしとす、2 有害ならず3 クロムエロアにて代用すべし但カドミウム程永久ならず■ 町の寫生に屋根が多く重なり合つてゴタ／＼になるので手がつけられぬどうすればよいのですか(わからず坊)◎ 遠くなる程形を略して大體の趣を得るを主として寫せばよい、幾度も寫生して經驗して御覽なさい■ 私の畫は細かくなり過ぎて困ります勉強したら粗い筆遣ひが出来ますか(横濱凸坊)◎ 本號の寫生の話にあるやうに物の細部を見ず要點だけを寫すやうに研究したらよいと思ふ■ チューブの繪具が固くなつたら如何したらよいでしょう(九萬人)◎ チューブを破つて繪具を出し乾製のやうに湯に入れて練り直すのです■ グレスとはどんな事に候や(KY)◎ 所謂といふと一度

塗つた上へ再び淡く繪具をかけることで私の繪は濁つて困ります何故ですか(博多海北生)◎ 不透明色が多過るのでせう、重濁の場合など透明色を用いて御覽なさい■ 1 フーカスクリインの合成法如何なして春野の緑に使用し得べきや2 朝の雲(春)にはクリムソンレーキを夕方の雲にはパーミリアン、カンホーシを多く含むと三宅先生は云はれたが實際朝の雲にも夕と同じく多くパーミリアンを含むが如何なる理由か(伊勢服部生)◎ 1 カンホーシアにアントロープブルー若くはプロシアンブルーを混すれば粗は同様の色を得べし、此色の一號は春草に用ゐて可なるも多量に用ふれば華美に流るゝ恐れあり2 朝の空には寒色の光線夕方は暖色を通例とする故かく説明されしならん例外ある事は勿論なればあまりに書物の類する事なく自ら研究されし■ 三宅先生の畫などには時として何れの物體の影も皆セビヤのみを使用されたるが如きもの往々見受たり物體の色により陰影の色も異なる方よろしきや而して陰影は其物體の陰よりも濃くすべきものなりや(石見、孤崖)◎ 物體の色により影の色に多少の相違を生ずるは當然なれど粗末なる石版の類にては細かき區別を示し難き故ならん又陰影は物體が明なき場合あり暗き場合あり光線の強弱物體の質にもよる事故實地寫生によつて實

験せられたし■ 外國の鉛筆畫手本の市内販賣所及其代價を知りたし(SB生)◎ 丸善書店に問合されたし、佛人カッザン氏の鉛筆手本は有名なれど價高し、英國ホースターの手本も佳なれど品切との事。

近事雜聞

△ 水彩畫講習所は、去月十八日より日本橋區本石町十軒店三番地舊門井小學校内に移り、從來土曜日、日曜日各三時間宛なりしを、改めて日曜日六時間の授業となり、晝食後三十分間丸山氏の遠近法講話を開始したり。

△ 上野五號館なる太平洋畫會覽展會はいよいよ開會したり、今回は出品中の傑作を集めたるアートタイプ摺のカタログを開會中發賣すべく、昨今製本中なりといふ。

△ 太平洋畫會に於ては彫刻教場新築のため有力なる會員の製作品を頒つて資金を募集する筈にて目下準備中なるが一口金十圓にて募集口數六十を限れる事とて最早大半約束済なれど當分は尙有志の申込に應ずべしとの事。

△ 上野五號館は六七月頃取拂になるべき由にて今秋の繪畫展覽會は流會となるべしといふ。

△ 會は四月一日より三十日迄五號館に於て開會さるべし